

令和8年開校 中頓別町立中頓別学園（幼小中一貫義務教育学校）R8・6・1 NO.3



中頓別学園だより

つくる・つながる・つみあげる
～未来をつむぐ 居場所だらけの学校～



学園HP

- ・1（月）～運動会特別時間割
- ・4（木） P T A役員会 19時（運動会について他）
- ・11（木）総練習、図書ボランティア活動日（他25木）
- ・13（土）運動会（雨天順延、15月振替休日予定）
- ・22（月）職員会議
- ・30（火）3, 4時間目全校公開授業参観「なかとんミーティング」

6月
主な
予定

新校舎建設状況（5月26日現在）
・全体（32.3%）
・建設（41.2%）
電気（14.2%）設備（17%）

PTA 総会での沢山の対話 ・交流・意見・質問、本当に ありがとうございました。



一中頓別学園の教育ビジョンに合わせて、対話・協働で「子どもを主語にした学校づくり」を進めるにあたり、PTA総会も対話交流の時間を多くとらせていただきました。ご理解とご協力に改めて心から感謝申し上げます。

一中頓別学園基本計画ができてから数年間、各園小中学校でのPTA総会や懇談会、保護者説明会やアンケートなどを定期的に行ってまいりましたが、「ここ数年で一番、ご意見や質問を出していただけて良かった。子どもたちの姿を通して少しずつ学園の良さを見てもらおう」と、いただいたすべての声を確認しながら全教職員で協議しました。

一限られた時間と人員の中で「児童生徒の不安をできるだけ軽減して義務教育学校へ移行する」ことを最優先に準備を進めており、保護者の皆様には情報やご説明が不十分なところもあるかと思っております。今後はメール等のSNSも活用し、教職員の業務量にもご理解いただきながら、できる限りの情報提供やご説明を学園として進めていきたいと思っております。

一先週、宗谷教育局義務教育指導監による学校訪問がありました。中頓別学園の教育ビジョン、児童生徒が「まちづくりに参画し地域文化を育てる（シビックプライド）」や「学園をよりよく創りあげていく文化創造」等を含む、本校のカリキュラムの方向性を確認していただきました。「本来の学校のあるべき姿、学習指導要領が目指すねらいに向かって進み、子どもの学習や生活の様子にも表れているので自信を持って取り組んでください」等、ご助言をいただきました。

Q1 中頓別学園の 「ブロック担任制」について教えてください。

A：中頓別学園のブロック担任制は、全国的に行われているブロック担任制やチーム担任制と少しイメージが異なるかもしれません。中頓別の子どもたちは少ない人数でいいいに学習や生活を進められる半面、「固定化された限られた人間関係で成長していく」ことのデメリットも共通する課題としておさえています。そのため、少人数の良さを残し課題を補う「中頓別学園スタイルのブロック担任制」を導入しました。

中頓別学園スタイルのブロック担任制の主な特徴は2つです。

(1) 授業や生活の多くは主担任と学級ごとに過ごしていきますが「朝や帰りの活動、給食」などの時間に、ブロックの先生がローテーションして入ります。複数の目線で子どもたちの様子を丁寧に見て、一人一人の様子の変化に早めに気づき、相談しやすい関係づくりを日常からできるようにしています。

(2) 係活動、委員会、授業によっては、ある程度の人数の方が子どもたちにとってメリットがあり、学年が近い児童生徒が合同で行う「ブロック活動」を取り入れています。9年間を通して色々な役割や少人数だからできない活動がないように、体験し学んでいくことをねらいにしています。

どんな活動や授業がブロックで行われるかについては、子どもたちの様子や成長に合わせてブロックや全体で話し合い協議をして決めています。詳しくはブロック通信やホームページでご紹介しています。

今回は、特にご質問が多かった内容をまとめてお知らせします。

Q2 中頓別学園の 「複式・単式指導」について教えてください。

A：複式・単式指導については、隣接する学年と合わせた児童生徒によって決まります。制度で決められているため、学校独自に基準を変更することはできません。又、学級（学年）の数によって、配置される教職員数も基準が決まっているので変えることができません。（R7年度は5・6年生が複式、R8年度は2・3年生が複式です。）

また、教職員の所持免許等によって、担当できる授業も決められています。（制度は年度によって変更されることもあります。）現在、すべての複式学級を解消することは難しいのですが、義務教育学校制度を活用し、最大限可能な範囲で

- ▶「教科指導を単式化する」
 - ▶「専門免許を持った先生からどの子も学べるようにする」
- ことを優先に全教職員で話し合いながら体制づくりをしています。

こども園での「異年齢保育」「チーム担任制」の土台をいかにしながら、幼小中一貫した切れ目のない教育が進められるように今後も取り組んでいきます。

Q3 中頓別学園の行事について

A：R9年度の新施設移行まで大きく行事の取り組みは変わりません。遠足などはありますか？学園祭は午後もありますか？等のご質問もいただきましたが、これまで小中学校で行われていた行事は基本的にそのまま継続します。（そのため、R5～R7の間に内容や取り組み時間を事前に見直してきました。）

「遠足」を「森のこども遠足」に、運動会や学園祭は子どもたちと相談しながら決めていく等、内容は個別最適で協働的な学びが進むように、リニューアルをしていきます。

